

よくわかる

日本美術史

# 絵画思想の個性化

講師 京都嵯峨芸術大学教授 佐々木正子



長い日本絵画史の中では毛色の変った作風を示す絵師がいる。描き方が変わっているというのももちろん個性的であることだが、絵を描く元の思想そのものが他とは異なっている絵師もいる。そうした個性的な絵師の考え方を追ひ、時代の変化の中で絵師がどのような思想を持っていたのかを、桃山、江戸中期、幕末という時代において解析する。

## 4月28日 海北友松の絵画構成

武家の家に生まれ、仏門に入り、後に還俗して家を再興し、更には絵師になるという、紆余曲折を経た人生。狩野派を学びながら狩野派的ではない作風を展開した。京都国立博物館で久々の展覧会があることに合わせて、60代にして本格的に制作を始めた桃山時代の異端、友松の作品に迫る。

## 5月26日 秋田蘭画の世界

江戸中期の学術が盛んな時代に、西洋画を学問としてとらえ、その絵画思想を解明し「画法項領」を表した藩主、佐竹曙山。「解体新書」の指図を原本から描き起こしたその部下、小田野直武。蘭学者平賀源内を挟み、繰り広げられた秋田での謎を含んだドラマと西洋を学ぼうとする時代を追う。

## 6月23日 幕末の狩野派・永岳

狩野派は開祖元信から、その時代時代に合わせて、少しずつ作風を変化させながらも、「狩野派」という根本の作風は堅持してきた。幕末には大和絵風の穏やかで華麗な作風が多くなる中、一人大和絵とは離れた独自の世界を追求した永岳。彼が予見していた新しい時代の絵画とはどのようなものであったのか。

いずれも第4金曜日 15:30～17:00

受講料 各回3,400円 3回通し 10,000円

### 会場

IMY (アイエムワイ) ビル会議室  
461-0004  
愛知県名古屋市東区葵 3-7-14  
地下鉄東山線「千種」駅①番出口、桜通線「車道」駅③出口徒歩2分、JR「千種」駅徒歩5分(メルパルク北隣)

お申込みは、ご予約のうえ下記口座にお振込み下さい。  
三菱東京UFJ銀行 栄町支店  
普通0160603 口座名義:創企舎ソフィー  
※または当日ご持参下さい。



お申し込み・お問い合わせは



## 創企舎 ソフィ

460-0007 名古屋市中区新栄 2-6-13

Tel/Fax 052-684-5894 (直通 090-8474-6363)

Emai: soukisha-sophy@gd5.so-net.ne.jp

URL: <http://s-sophy.com>

創企舎ソフィ

検索

201704